

磯子タウンマネジメント倶楽部

令和6年(2024年)総会議事録

1. 概要

開催日時:2024年3月17日(日)14時00分~14時30分

開催場所:ブリリアシティ横浜磯子 多目的スペース

出席者 :磯子タウンマネジメント倶楽部正会員代表者

登壇者 :議長 磯子タウンマネジメント倶楽部運営委員長 佐藤 弘樹  
 司会 磯子タウンマネジメント倶楽部運営副委員長 小川 美紀  
 磯子タウンマネジメント倶楽部監事 仙田 潤路  
 磯子タウンマネジメント倶楽部運営委員 平野 雅久

2. 総会成立要件

下記の通り、議決権を有する会員代表総数1,228名の過半数(614名)以上の696名(議決権数は704個)の出席があったことから、磯子タウンマネジメント倶楽部(以下、「倶楽部」という。)会則第22条第4項の定めにより、本総会は適法に成立したことを、司会の倶楽部運営副委員長の小川氏が宣言した。

[本総会の出席正会員代表者数及び議決権数の状況]

	総数	会議に出席	議決権行使・委任による出席	合計(出席率)
正会員代表者数	1,228名	7名	689名	696名(56.6%)
議決権数	1,238個	7個	697個	704個(56.8%)

3. 議事録署名人の指名

本総会の議事録署名人として、出席者の藤谷氏と松井氏を指名した。

4. 議事内容

I. 報告事項

**【令和5年度事業経過報告】**

上記内容につき、議案書に基づき議長で運営委員長の佐藤氏より説明がされた。

II. 審議事項

**【第1号議案】 令和5年度決算報告承認の件**

上記案件につき、議案書に基づき佐藤氏より説明がされた。

第1号議案は、検討・審議の後、正会員代表の賛成総数 695 名、議決権の賛成総数 703 個にて、本議案は可決承認された。

**【第2号議案】 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)承認の件**

上記案件につき、議案書に基づき佐藤氏より説明がされた。

第2号議案は検討・審議の後、正会員代表の賛成総数 688 名、議決権の賛成総数 696 個にて、本議案は可決承認された。

**【第3号議案】 令和6年度運営委員選任の件**

上記案件につき、議案書に基づき佐藤氏より説明がされた。

第3号議案は検討・審議の後、正会員代表の賛成総数 696 名、議決権の賛成総数 704 個にて、本議案は可決承認された。

[その他意見等]

- 運営委員の負担が重い状況について、今後どのように改善していくのか。

- 2年前から管理組合(理事会)に対して改善に向けた協議を依頼しているが、昨年度の開催した会議は問題点の共有を除けば議論したのは1回のみであり、具体的にお話できるような進展はない状況です。

そのような状況下にあつて、協議を前に進めるべく運営委員から佐藤と仙田が次期理事に立候補した次第です。


その他に意見がなかったことから、小川氏が本総会の閉会宣言をした。

本総会の議事に関する内容及び決議事項が正確であることを証するため、本議事録を作成、議長ならびに出席会員2名が署名捺印する。

令和6年(2024年)3月17日

議事録署名

議長: 佐藤 弘樹 

出席会員: 松井 健治 

出席会員: 藤谷 泰史 

《「出欠表及び議決権行使書」とともに提出された質問や意見に対する回答》

① 貴賓館の運用案を提示願いたい。

- 管理組合から委託されている当倶楽部の管理施設は、多目的スペースと地域開放スペースの管理運営のみで、かつ利用者の申込み受付と利用料の徴収を主体とする委託業務です。よって当倶楽部に貴賓館の運用等を検討する権限はありませんので、管理組合(理事会)にご相談ください。

② キッズエプロンより、子供にその後にも役に立つような物がないのか再考いただきたいです。

- キッズエプロンは、出店者様の協力を得ながら、子供が自らお客様の呼び込み、商品の販売、接客や会計のお手伝いなど、貴重な体験ができるマルシェの企画の1つとして、キッズボランティアへの配布を行っているものです。

本企画は3年に渡り実施していて既に延約50名もの子供達に参加いただいている企画で、エプロンは参加してお手伝いするときのアイテムであり、また自宅でのお手伝い時にも活用いただきたいという主旨でそのままプレゼントしているもので大変好評をいただいています。

今般の予算は、在庫が不足してきたことにより追加発注するものであり、引き続き子供達にはボランティアによる体験を楽しんでいただきたいと考えています。

③ 最終的に黒字になるということですが、赤字はより少なくしてください。

- 議案書でもご説明させていただいた通り、黒字化は定着しております。

令和4年の総会でお示しさせていただいた通り、本倶楽部唯一の収入である正会員の会費を40%削減したうえでも黒字化を維持しています。

ただし、設立して10年を経過する中で、テント、机、イス、その他本倶楽部が所有する備品は、老朽化しているのも事実ですので更新の必要があること、また新たな企画に向けた投資についても必要になって参りますので、一時的に大きな出費も当然発生いたします。

単年度収支及び残余財産の状況を勘案して計画的な設備の更新等を行っているつもりですので、ご理解をお願いいたします。

④ ハロウィンのガイコツ人形をやめていただきたい。子供が怖がって通れない。皆が安心して通れる場所の必要があると思います。

- お子様には怖い思いをさせてしまっているのであれば申し訳ございません。

動く人形の設置はハロウィンのガイコツ人形から始めましたが、これまで否定するような意見は全くなく、むしろ「面白い」「楽しい」「子供が喜んでいる」という多くの声をいただいていますので継続して参りましたが、次回買替等の際には検討させていただきます。

以上